

我が国の港湾における 釣り文化の振興に関する事例集2023

国土交通省 港湾局
海洋・環境課

令和6年3月

港湾における釣り施設に関する事例（苫小牧港）①

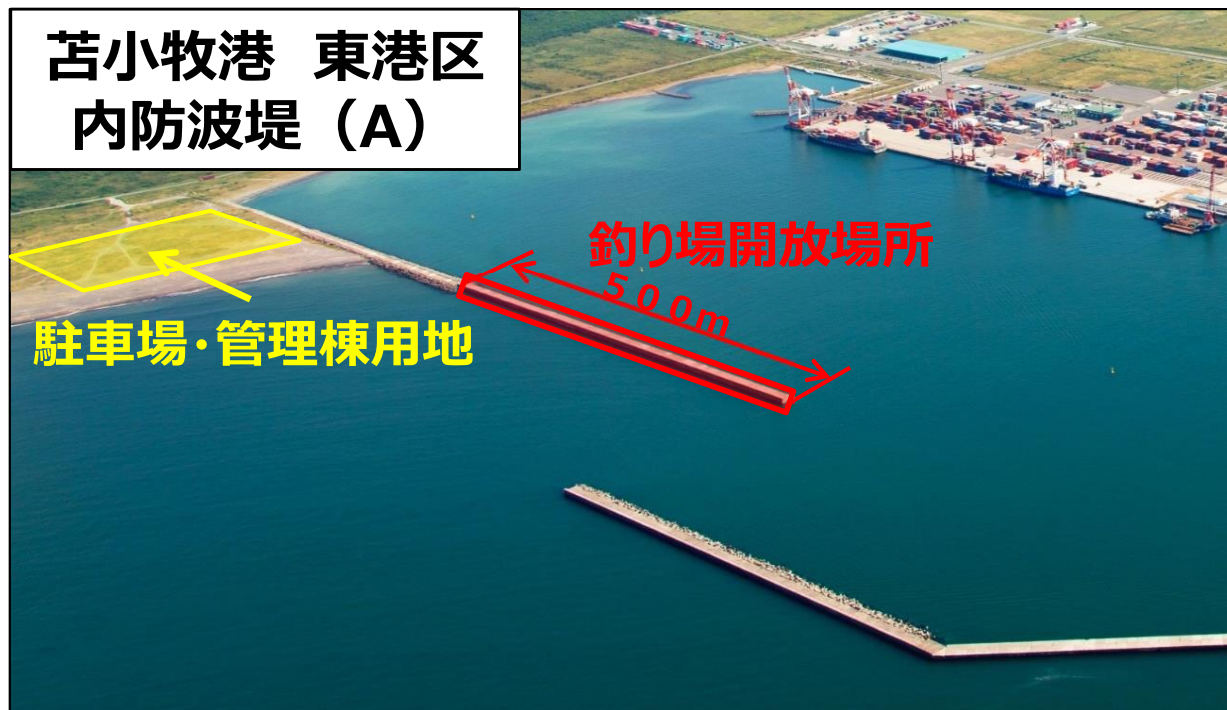


国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- 安全な釣り場として開放するため、各種マニュアルの作成や救命ボート・救命器具の設置等を行うとともに、試験開放により安全対策上の問題を入念に排除した上で実施。

苫小牧港 東港区 内防波堤（A）



【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	苫小牧港【国際拠点港湾】
協議会等	苫小牧港海釣り施設協議会
対象港湾施設	東港区内防波堤（A）
モデル港指定日	令和2年8月3日
港湾管理者	苫小牧港管理組合
釣り施設管理・運営者	（一社）苫小牧港釣り文化振興協会
施設利用料	大人：1,000円、中高校生：500円、小学生：300円、駐車場：500円
運営時間	午前6時から午後5時
安全対策	・監視カメラ、救助ボート、縄はしご、救命浮輪、AED、雷検知器、デジタル風速計、防波堤段差にスロープ
利用者数（令和5年度実績）	3,019人（稼働日数：66日）

- 令和元年度、日釣振北海道地区支部から防波堤の開放要望があり。
- 協議会で安全対策や管理運営体制を議論し港湾管理者の合意のもと、令和4年度より東港区内防波堤（A）の釣り場開放を開始。



親子釣り教室

港湾における釣り施設に関する事例（苫小牧港）②

令和5年度の実績報告

■ 釣り場開放

開放日 : 4月から10月末までの土日・祝日
 開放日数 : 66日(開放予定日:69日)
 雨天中止 : 3日
 稼働率 : 95%



- ・救命胴衣のレンタルに加え、釣り竿、餌・仕掛け等のレンタル・販売をはじめたことにより、釣り具を持っていなくても気軽に利用できる環境になった。
- ・昨年と比べ、利用者数が、51人/日から45人/日に減ったものの、釣果件数は33件/日から43件/日に増加した。特に、10月の釣果件数は118件/日であり、今後の集客を期待できるものとなった。
- ・1年を通じて事故や救助艇の出動が無く、「安心・安全な釣り場」をアピールできた。

■ 釣りイベント実績

7月 親子釣り教室
 (12組 24名)
 10月 開放記念釣り大会
 (35名)



■ モデル港の事業成果

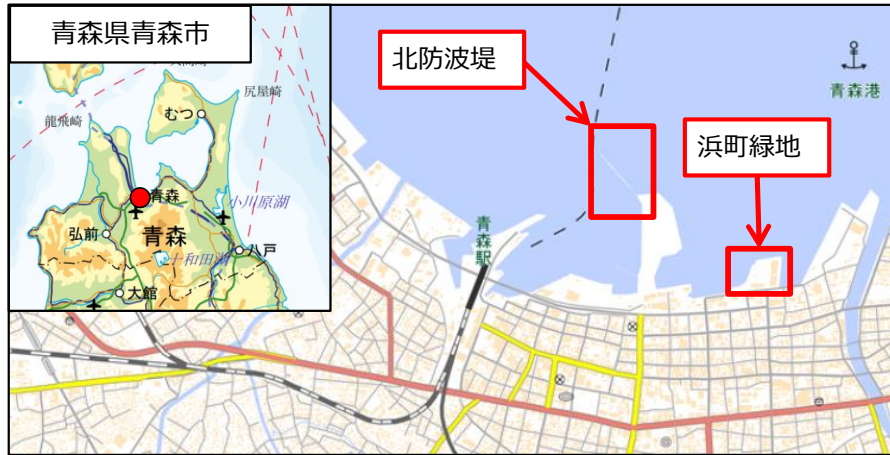
- ・事業開放によって防波堤が人目につくようになり、不法投棄が減少した。
- ・日釣振や運営する社団法人の協力による清掃活動により、防波堤周辺の環境が改善された。
- ・運営スタッフを地元で雇うことにより、地元の雇用創出に繋がった。
- ・地元のコンビニや飲食店の利用増進により、地域の活性化された。

令和6年度以降の取組予定

- ① 開放前安全講習会
- ② 3月末協議会開催
- ③ イベント企画
親子釣り教室、メーカー釣り大会、各魚種別でのダービー企画
- ④ レンタル・販売品の追加検討
竿・救命胴衣のレンタル、餌・仕掛け等の販売を行っているが、利用者のニーズに合わせ品目の追加を検討する。
- ⑤ 地域協力のもと物販の販売
(飲食なども検討)
- ⑥ 周辺地域の清掃活動



港湾における釣り施設に関する事例（青森港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 救命浮環や転落防止柵等の安全対策が常設されており、安全に釣りを行うことができる。



【基本情報】 令和5年12月末現在	
港湾名	青森港
協議会等	青森港釣り利用検討会
対象港湾施設	<ul style="list-style-type: none"> ・浜町緑地（開放日限定） ・北防波堤（開放日限定）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	青森県
釣り施設管理・運営者	青森港の未来を考える会
施設利用料	無料
運営時間	8時～17時(開放日毎に設定)
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・救命浮環 ・タラップ ・転落防止柵 ・見回り 等
利用者数（令和5年度実績）	- 人（稼働日数：0日）※

- 平成27年2月に策定された「青森港ビジョン」の基本戦略に「市民が身近に海とふれあえる自然豊かな空間の形成」として、「浜町緑地の釣り利用」を掲げ、取組を進めている。
- 検討会で安全対策や管理運営体制を検討し、平成30年度より釣り場開放を開始。



▲釣り限定開放(令和2年10月18日)浜町緑地

※令和3～4年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止
 ※令和5年度は、長引くコロナの影響等によりやむを得ず開催を断念

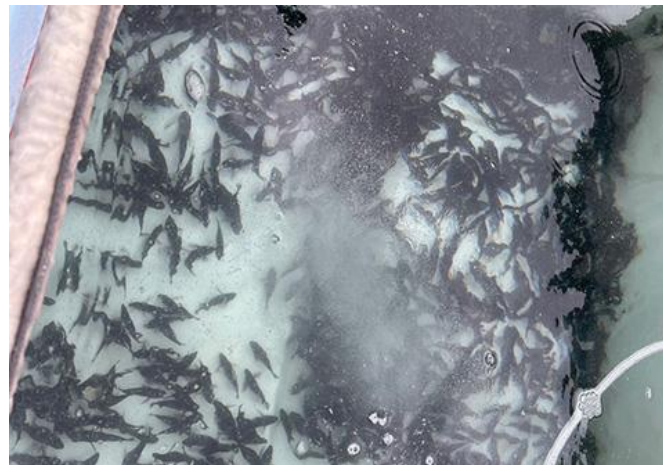
港湾における釣り施設に関する事例（青森港）②

令和5年度の実績報告

- 令和2年度の規模縮小開催、令和3～4年度の全面中止など、長引くコロナの影響を受けたこともあり、令和5年度の釣り施設開放に向けた準備等が進まずやむを得ず釣り限定開放を断念した。（自由開放は実施）
- 2月15日(木)、日本釣振興会青森県支部の会合において、令和6年度の実施を決定し、第1回目の釣り施設開放(浜町緑地)をGW明けに行う予定としている。
- 公益財団法人日本釣振興会が令和5年11月27日に浜町緑地にて稚魚の放流イベントを実施し、キツネメバル(マゾイ)の稚魚1,750尾を海に放流した。



▲【R5】稚魚の放流 集合写真※



▲【R5】放流したキツネメバルの稚魚※

放流実績

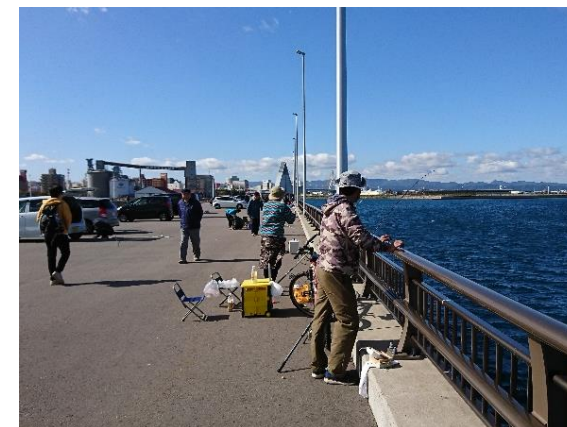
年 度	放 流 魚	数 量
令和元年	ア イ ナ メ	2,134尾
令和2年	ア イ ナ メ	2,324尾
令和3年	—	—

年 度	放 流 魚	数 量
令和4年	ア イ ナ メ	2,000尾
令和5年	キツネメバル	1,750尾

※公益財団法人日本釣振興会HPより引用

令和6年度以降の取組予定

- GW明けに浜町緑地の施設開放を行う予定。なお、北防波堤の施設開放について検討を行う。
- 時期は未定であるが、稚魚の放流イベントを実施予定。



▲浜町緑地の釣り開放(令和元年)



▲北防波堤の釣り開放(令和元年)

港湾における釣り施設に関する事例（秋田港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- 地域の子供達を対象とした 釣り教室やマダイの稚魚放流イベントなどを実施し、地域の活性化に取り組んでいる。



【基本情報】令和5年12月末現在	
港湾名	秋田港【重要港湾】
協議会等	秋田港外港地区北防波堤 釣り開放に向けた検討会
対象港湾施設	外港地区 北防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	秋田県
釣り施設管理・運営者	（一社）秋田港有効利活用協会
施設利用料	大人、高校生：1,000円 中学生：500円 小学生：300円
運営時間	・4月～11月の土日祝祭日 ・5～9月：6:00～18:00 ・4月、10～11月：7:00～16:00
安全対策	・救命浮環、救助艇、AED ・案内板、危険表示ライン ・監視員の常駐 等
利用者数（令和5年度実績）	6,091人（稼働日数：48日）

- 立入禁止であったが、釣り場としての開放を求める声が多く寄せられていた。
- 平成30年2月から安全対策等の検討が進められ、安全安心な管理・運営のもと、本格開放を令和2年8月より開始した。



開放の様子（令和3年10月9日）

港湾における釣り施設に関する事例（秋田港）②

令和5年度（R5）の取組報告

① 釣り教室の開催

北防でアソボー！
ファミリー釣り教室2023春の陣

開催日：令和5年5月13日（土）
場所：秋田港北防堤
参加費：大人1人2,000円、子供1,000円
定員：先着100名（約30名）で締め切り

※5/13（晴れ）
「北防でアソボー！春の陣」
5組、計11名



② フォトダービー2023開催

北防でアソボー！
フォトダービー2023開催！

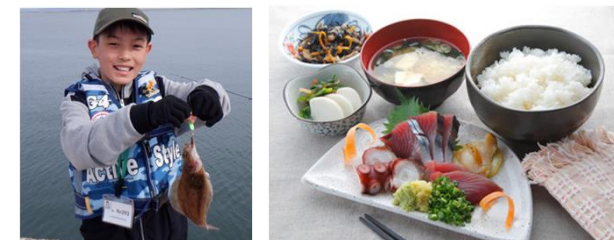
参加費：無料
対象：6～10月の毎月1日～31日

1. 釣果写真の入場申し込み
2. 釣果写真の審査
3. 最優秀賞の発表

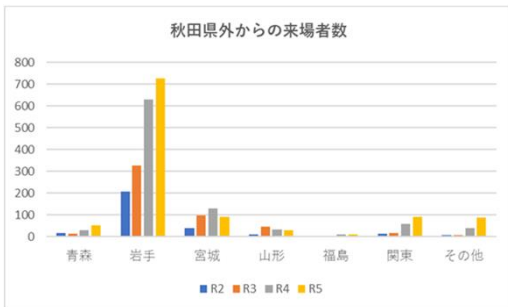


令和6年度（R6）以降の取組予定

- ① 地域振興の取り組み（地元と共同企画）R5未着手の以下2案の実現に向け継続調整を進める
- クルーズ客の「釣り&食イベント」実施を目指し調整を進める
 - 来場者が釣った魚の地元飲食店での飲食実施企画を継続協議

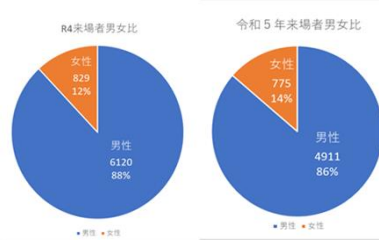


報告：来場者動向①



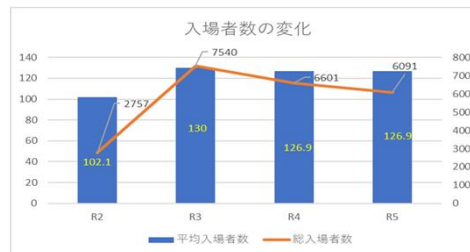
※防波堤開放以降、年を経るごとに秋田県外からの来場者が増加傾向にあり、特に岩手県からの来場者の増加が顕著となっている。
※要因：HPによる北防の釣果報告、雑誌「釣り東北」での広報といった取り組みが県外来場者の増加に繋がったと考えている。

来場者動向②



※昨年に比べ女性来場者の割合が12%→14%と増加傾向にある。
※要因：明確な要因は確認出来ていないが、一人及び数人で来場する女性が増えた印象は感じている。

来場者動向③



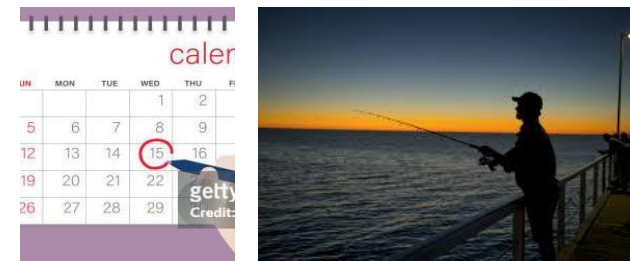
※R5総入場者数：6,091人/48日
※日当り平均入場者数：127人

◎R5の反省点

・取り組みを進めようと考えていた、クルーズ客誘致、釣り&食事のイベント、平日・夜間開放等への取り組みに着手出来なかった。

② 釣り開放検討会議議題 (R5. 10. 6)

- 平日開放、夜間開放の実現の可否について検討&試験を予定
 - 平日開放におけるスタッフ確保の可否を検討、調整
 - 夜間開放時の安全確保の可否について、救助の実証実験、夜間における安全監視の可否の検証
- ※上記3点を継続して検討予定



港湾における釣り施設に関する事例（相馬港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 東日本大震災で失われた海の観光資源の復活、地域活性化などを目指し、関係者一丸となって運営。



海釣り公園
(釣りデッキ)

【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	相馬港
協議会等	新地町海釣り公園協議会
対象港湾施設	・相馬港5号ふ頭防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	福島県
釣り施設管理・運営者	新地町海釣り公園協議会
施設利用料	高校生以上 1,200円/人、 小・中学生 700円/人 ※半日
運営時間	・4月～10月： (午前) 6時～正午 (午後) 正午～18時 ・11月～3月： (平日) 9時～14時 (土日祝・午前) 6時30分～11時30分 (土日祝・午後) 11時30分～16時30分
安全対策	安全柵設置、ライフジャケット無料貸出、救命ボード・救命浮き輪設置
利用者数（令和5年度実績）	9,055人（稼働日数：251日）

- 平成21年4月、市民等からの要請もあり、海の観光資源を活用し、町の活性化を図るため、新地町が整備し一般に開放。
- 東日本大震災で被災し、平成31年4月に8年ぶりに再開。
- 令和3年2月、令和4年3月の福島県沖地震で再び被害を受け休園、令和5年4月に再開。



釣り客でにぎわう様子

港湾における釣り施設に関する事例（相馬港）②

令和5年度の実績報告

○令和4年3月に発生した福島県沖地震により、甚大な被害を受け、営業を休止していたが、令和5年4月22日に営業再開。

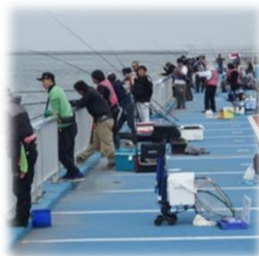
○町主催事業

海釣り公園モニターツアー（10月14日～15日）

海釣り公園釣り大会（9月1日～11月30日）

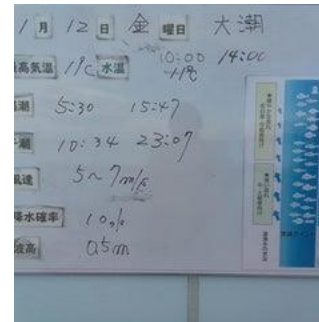
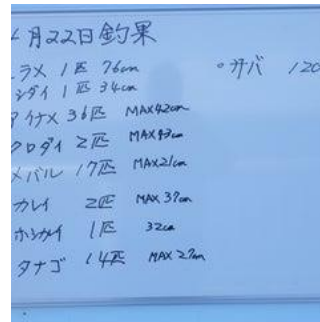
○復興庁事業

ふくしま夏休み海釣り大会（7月30日～8月31日）



○SNS等での情報発信

町ホームページのほか、町観光協会インスタグラム、海釣り公園ブログで開設状況や釣果情報を掲載。海釣り公園 X（エックス）ではリアルタイムで釣果情報などを写真で紹介。



※写真提供：新地町

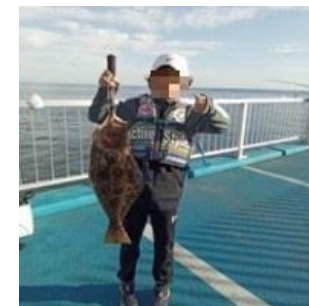
令和6年度以降の取組予定

○令和6年度以降も施設の安全管理に努め、より多くの方々に釣りを楽しんでいただき、ふくしまの海を観光資源としてアピールしていく。

○釣り大会の開催

○釣り教室の開催

○SNS等での情報発信



港湾における釣り施設に関する事例（小名浜港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- みなとオアシス内に位置し小名浜港の賑わい創出に寄与。
- コロナ前には「小名浜港釣り大会」を開催し、地域活性化に貢献。

アクアマリンふくしま



いわきサンマリーナ



※写真提供：福島県

【基本情報】 令和5年12月末現在

港湾名	小名浜港
協議会等	いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会
対象港湾施設	・2号ふ頭 釣り指定区域 ・剣浜緑地 釣り桟橋
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	福島県
釣り施設管理・運営者	福島県
施設利用料	無料
運営時間	・2号ふ頭：制限なし ・剣浜緑地：8：30～17：30 （夏・冬期は閉門時刻が1時間前後）
安全対策	安全柵、救命浮き輪の設置
利用者数（令和5年度実績）	不明

- 平成4年より「剣浜緑地釣り桟橋」、平成10年より「2号ふ頭釣り指定区域」を開放。
- 地元まちづくり団体、県、市等で構成された「いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会」が主体となり、釣り文化振興の取り組みが進められている。



H31.9 釣り大会

港湾における釣り施設に関する事例（小名浜港）②

令和5年度の実績報告

■ 釣り指定区域の開放

対象港湾施設である「2号ふ頭・釣り指定区域」及び「剣浜緑地・釣り桟橋」において、引き続き、無料開放を行った。



※写真提供：いわき市

■ 先進地視察の実施

釣り文化振興モデル港としての今後の展開や賑わい創出の参考とするため、先進地視察を行った。

○日 時：令和5年9月27日(水)～28日(木)

○場 所：重要港湾「秋田港」秋田港外港地区北防波堤海釣り施設

○対応者：一般社団法人秋田港有効利活用協会様

国土交通省東北地方整備局秋田港湾事務所様

○概 要：防波堤開放までの経緯やこれまでの取組み、安全対策等の調査、小名浜港の釣り文化振興に向けてのアドバイス

■ いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会の実施

小名浜港で釣り文化振興を進める際の課題整理や、今後の取組みについて意見交換を行った。

○日 時：令和5年11月21日(火)

○場 所：まちづくりステーション小名浜

○会 員：小名浜まちづくり市民会議、(株)アクアマリンパークウェアハウス、(株)いわき市観光物産センター、(公財)ふくしま海洋科学館、福島県小名浜港湾建設事務所、いわき市

○概 要：小名浜港周辺の現状と課題の整理、令和5～6年度の取組み(案)の協議

令和6年度以降の取組予定

○いわき小名浜みなとオアシス連絡協議会の実施

- ・先進事例等を参考に、効果的な事業展開や運営のあり方について検討を進める。

○釣果調査等の実施

- ・より釣果が期待できる釣り場候補の基礎情報を収集する。
- ・想定される危険要因等を抽出し港湾利用への影響等についても整理する。

○先進地視察の実施

- ・先進的な取組みや成功事例を学び、今後の参考とする。

○釣りイベントの企画

- ・交流人口の拡大や地域活性化、釣り客のマナー向上や釣り場開放等のニーズ把握を目的に、釣りイベントを企画する。
- ・釣りイベントでは、啓発用チラシの配布やアンケート等を実施予定。

港湾における釣り施設に関する事例（新潟港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 「みなとオアシス聖籠」の施設として位置付けられた施設



【基本情報】令和5年12月末現在	
港湾名	新潟港
協議会等	新潟港（東港区）第2東防波堤釣り開放等にかかる連絡会
対象港湾施設	・東港区 第2東防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	新潟県
釣り施設管理・運営者	NPO法人ハッピーフィッシング
施設利用料	1,500円
運営時間	日の出～日の入
安全対策	・救命浮環21基 ・上陸用縄梯子 等
利用者数（令和5年度実績）	13,811人（稼働日数：209日）

- 平成21年 釣り問題研究会（弁護士、釣振興会、荷役業者等）を設置
- 平成21年9月報告書
- 平成22年 2回の試験開放を実施
- 平成23年6月3日 開放



港湾における釣り施設に関する事例（新潟港）②

令和5年度の実績報告

開放期間 2023年3月1日～11月5日(250日間)

○開放日数(単位:日)

区分	開放	部分開放	終日閉鎖	計
日数	187	22	41	250

開放割合 83.6%

○利用人数(単位:人)

区分	大人	高校生	中学生	小学生	計
人数	12,878	101	127	705	13,811

開放1日あたり平均 66.1人

○利用者数(県内外別)(単位:人)

区分	県内	県外	計
人数	9,133	4,678	13,811

県外者割合 33.9%

○地元地域との連携

釣り場特別回数券が、聖籠町のふるさと納税返礼品となっている。

令和6年度以降の取組予定

○開放予定

2024年3月1日～10月31日

○安全性の確保

- ・能登半島地震での津波を踏まえた避難対策の見直し

- ・安全設備のチェックとメンテナンスの徹底

- ・入場者のライフジャケット着用の徹底

- ・入場者の落水防止対策の強化

- ・救助、避難訓練の実施

等

○釣り人への情報提供の充実

○来場の際の快適性と利便性の向上

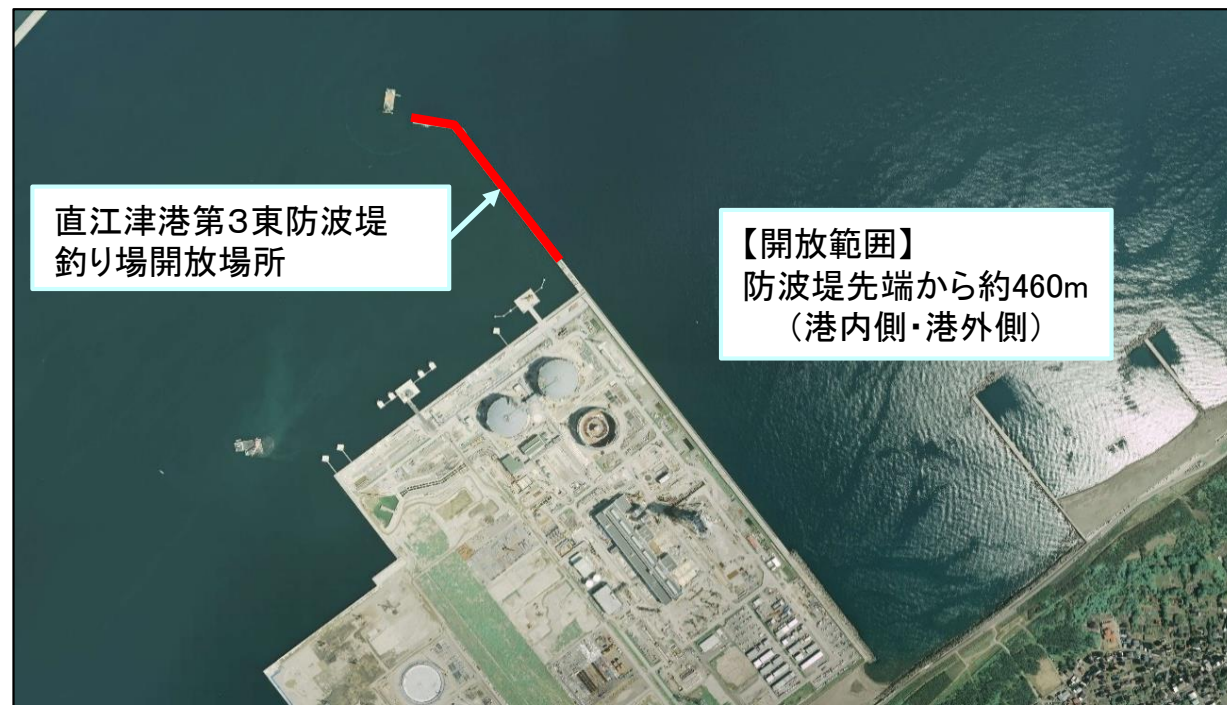
港湾における釣り施設に関する事例（直江津港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 交通アクセスがよく、県外からの利用者多数
（利用者数23,289人に対し、県外者割合が78.4%を占める）



【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	直江津港
協議会等	直江津港第3東防波堤釣り開放等にかかる協議会
対象港湾施設	・直江津地区 第3東防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	新潟県
釣り施設管理・運営者	NPO法人ハッピーフィッシング
施設利用料	1,500円
運営時間	日の出～日の入
安全対策	・救命浮環36基 ・上陸用縄梯子 等
利用者数（令和5年度実績）	23,289人（稼働日数：187日）

- 地元から釣り場開放を求める動きが従来よりあり、関係者と検討
- 平成27年に試験開放を実施（10月9日～18日）
- 平成28年7月12日から本開放



港湾における釣り施設に関する事例（直江津港）②

令和5年度の実績報告

開放期間 2023年3月1日～11月5日(250日間)

○開放日数(単位:日)

区分	開放	部分開放	終日閉鎖	計
日数	119	68	63	250

開放割合 74.8%

○利用者数(単位:人)

区分	大人	高校生	中学生	小学生	計
人数	21,531	204	305	1,249	23,289

開放1日当たり平均 124.5人

○利用者数(県内外別)(単位:人)

区分	県内	県外	計
人数	5,023	18,266	23,289

県外者割合 78.4% 当該施設への来場者の多くが県外からであるため、閉鎖情報発信の迅速化に努めている。

○地元地域との連携

地元飲食店と連携し、防波堤で釣った魚を持ち込んで調理してもらえるサービスを実施。

令和6年度以降の取組予定

○開放予定

2024年3月1日～10月31日

○入場者へルール・マナー順守の徹底

○安全性の確保

- ・能登半島地震での津波を踏まえた避難対策の見直し

- ・閉鎖基準の順守の徹底

- ・入場者のライフジャケット着用の徹底

- ・安全設備のチェックとメンテナンスの徹底

等

○釣り人への情報提供の充実

○来場の際の快適性と利便性の向上

- ・インターネットによる入場券販売

(県外利用者も多いことから、事前に入場券をネット販売し、前日から入場を待つ待機車列を減少)

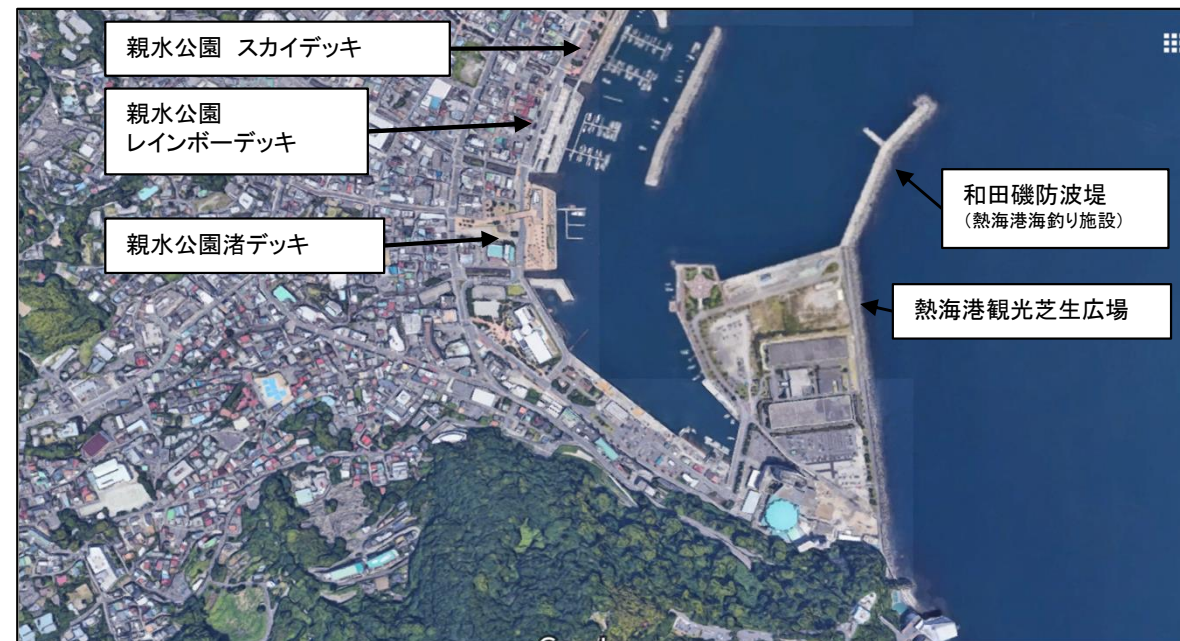
港湾における釣り施設に関する事例（熱海港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 首都圏からのアクセスも良く、目の前にはマリーナや熱海市街地・山並みが一望できる素晴らしいロケーションで釣りが楽しめる。
- 初心者や女性・家族連れも安心して楽しめる海釣り施設。



【基本情報】令和5年12月末現在	
港湾名	熱海港
協議会等	熱海港海釣り施設連絡協議会
対象港湾施設	和田磯防波堤
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	静岡県
釣り施設管理・運営者	熱海市・NPO法人SEA WEB
施設利用料	大人500円（見学300円） 子供300円（見学100円） 回数券あり
運営時間	4/1～10/31 午前6時～午後7時 11/1～3/31 午前7時～午後5時
安全対策	・タラップ5基・救命浮輪10基 ・転落防止柵・釣台転落防止柵 ・雷検知器・風向風速計等 ・ライフジャケット無料貸し出し
利用者数（令和5年度実績）	17,949人（稼働日数：224日）

- 平成14年の熱海港防波堤での水難事故の教訓を活かし、港湾施設の開放と安全管理体制の充実を図るためH16～17年度にて、熱海市・静岡県で安全施設を整備。
- 関係機関にて安全対策や地域振興等を協議し、平成18年に海釣り施設として施設開放を開始。



港湾における釣り施設に関する事例（熱海港）②

令和5年度の実績報告

- 来場者の安全確保の観点から、海上での転落者救出訓練を下田海上保安部・熱海警察署・熱海消防・地元漁協等の関係者と実施するとともに、あわせて津波避難訓練を実施した。（良かった点としては、実際に転落者の救助や津波避難放送を実施することで、スタッフの防災意識向上と関係機関との関係強化が図られた。）
- 釣った魚をその場で食する取り組みを、地元の飲食店と締結するとともに「マリンスパあたま」という温水プールをはじめとする健康増進施設と引き続き連携し、施設内での浜焼きや海釣り施設利用者の入場料割引を実施した。（良かった点としては、利用者のニーズに応えることが出来たこと。また、反省点としては、PR方法がHPや施設のチラシのみであり、発信力が低かった。次回からはSNS等も活用して相互利用の認知度を高めたい。）
- 日釣振の協力を得て、海釣り施設の海中清掃を実施し、釣り場の環境を整備した。（良かった点としては、釣り人の前で清掃を実施することでマナー等の意識向上が図れた。）
- 釣り具メーカーと協働で子供を対象にした釣り教室を実施し、釣り文化のすそ野の拡大とマナー等の啓発に努めた。
- テレビの取材や番組収録を受入れることで、海釣り施設の認知度向上を図った。



転落救助訓練



釣り教室の様子

令和6年度以降の取組予定

- 地元観光団体と協働し例年11月上旬に開催される「おさかなフェスティバル」への参加。



おさかなフェスティバルの様子

- 釣り具メーカーと協働した子供向け釣り教室の開催
- 初心者を対象とした、マンツーマンの釣り指導
- 児童養護施設の子供たちを招待し釣り教室開催

港湾における釣り施設に関する事例（清水港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- 清水港のSOLAS区域を開放し、世界遺産の富士山を背景に水辺の憩い場として釣り開放を実施。



【基本情報】令和5年12月末現在	
港湾名	清水港【国際拠点港湾】
協議会等	清水フィッシングエリア振興協議会
対象港湾施設	<ul style="list-style-type: none"> ・日の出岸壁 ・新興津地区清水港海づり公園 (R7d供用開始予定)
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	静岡県
釣り施設管理・運営者	—
施設利用料	無料
運営時間	開放日の8:00～15:00
安全対策	安全監視船 救命胴衣着用 救命浮環 人数制限 (R5d 100名迄) 等
利用者数 (令和5年度績)	532人 (稼働日数: 3日)

- 東日本大震災により被災した東電福島第一原子力発電所に譲渡した、海づり公園の代替事業
- 安全対策や管理運営体制を議論し港湾管理者の合意のもと、平成23年度より日の出岸壁の釣り場開放を開始。



港湾における釣り施設に関する事例（清水港）②

令和5年度の実績報告

■ 釣り開放【日の出岸壁】

【実施日】

令和 5 年 5 月 14 日 (日)	: 40 人
令和 5 年 6 月 11 日 (日)	: 中止 (天候不良のため)
令和 5 年 9 月 10 日 (日)	: 164 人
令和 5 年 10 月	: 中止 (客船等との調整困難のため)
令和 5 年 11 月 19 日 (日)	: 328 人

全3回開催 532人参加

- 安全監視員の配置、安全監視船の運航
- 救命胴衣のレンタル（無料）
レンタル竿（1,000円：仕掛け・エサ付）
- 海岸清掃イベントと連携し釣りマナー向上の啓蒙活動
- 稚魚の放流、海上保安庁による安全講習会、岸壁清掃
- ◎外国客船の入港が再開され、休止以前を超える隻数が入港。
日程調整が難しく、10月は中止となった。

【良かった点】

- ・稚魚放流によって、限りある水産資源の保護などについて考える良い機会となった。

【悪かった点】

- ・海の状況や天候等により釣果に影響がある。

令和6年度以降の取組予定

■ 釣り開放【日の出岸壁】

- ・令和6年度以降においても、昨年度同様の回数及び内容を予定している。
- ・令和6年度（日曜日開催）
5月、6月、9月、10月、11月



解放エリアのゾーニング



釣りの様子

港湾における釣り施設に関する事例（御前崎港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

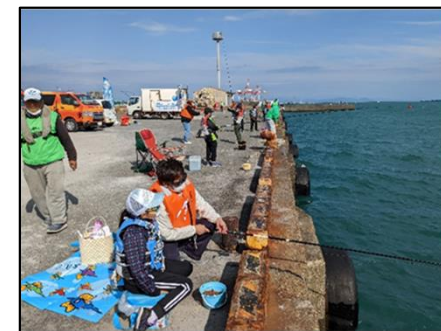
<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- 御前崎港は、駿河湾に突き出た地形で、年中通して、様々な魚を狙うことができる。



【基本情報】 令和5年12月末現在	
港湾名	御前崎港
協議会等	御前崎みなとまち振興連絡会
対象港湾施設	<ul style="list-style-type: none"> ・西ふ頭官庁船溜まり（開放日未定） ・東ふ頭（開放日未定）
モデル港指定日	令和2年8月3日
港湾管理者	静岡県
釣り施設管理・運営者	—
施設利用料	—
運営時間	—
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・安全監視船 ・救命胴衣着用 ・救命浮環 等
利用者数（令和5年度実績）	64人（稼働日数：1日）

- 釣果を期待できる場所での釣り場開放の要望があったことから、連絡会において、一時的にふ頭を開放し、釣り開放イベントを開催。



※ 開放検討中

港湾における釣り施設に関する事例（御前崎港）②

令和5年度の実績報告

- 令和5年10月22日（日）、御前崎みなとまち振興連絡会（事務局：御前崎市）の主催による「御前崎港釣り開放イベント」を開催。
- 普段は開放されていないふ頭の一部を開放し、市内外から家族連れなど64名が参加。（公財）日本釣振興会静岡県支部による釣り教室の開催やライフジャケットの着用を促すなどの取り組みを行った。
- 参加者から、中央ふ頭は広く安全に釣りを楽しめたとの声をいただいた。
- 昨年度の「親子釣り体験教室」に続き、2回目の開催。
- 御前崎港は、令和2年8月に国土交通省の「釣り文化振興モデル港」に指定され、地域の関係者により地方創生を目的とした釣り文化振興の取組を推進するため、地元関係者との調整を踏まえ、適切な開放する施設の選定を進めている。



令和6年度以降の取組予定

開放エリアの拡大や有料化を目指し開放イベントを開催する予定。

港湾における釣り施設に関する事例（高知港）①

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 高知県屈指の観光地である桂浜に接続する「桂浜防波堤」について、釣り場開放に向けた検討を進めている。
- 令和5年度は日本釣振興会高知県支部と桂浜水族館が連携して実施。ポンプ付き水槽を防波堤上に設置した屋外水族館や釣れた魚の生態・食べ方の解説など、水族館学芸員の参画によりイベントの盛り上げが行われている。
- 今後も高知港及び桂浜公園一帯の特異性を活かした活動を展開していく予定。



- 平成30年度に、高知港湾・空港整備事務所から市・県に釣り場開放について提案。協議会を設立し、平成31年3月にモデル港に指定された。
- 令和4年度に協議会から釣りイベントの開催を提案。桂浜防波堤の釣果や安全対策、釣り人のニーズ把握や課題の掘り起こし等を目的として、令和4年度から日本釣振興会高知県支部主催の釣り大会を開催。
- 令和5年度は2回目の釣りイベントを実施。安全対策の拡充や催し企画の実施など、昨年度よりも充実した内容での実施を行った。



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	高知港【重要港湾】
協議会等	高知港の利活用等にかかる協議会
対象港湾施設	・桂浜防波堤（開放日未定） ・種崎防波堤（開放日未定）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	高知県
釣り施設管理・運営者	—
施設利用料	—
運営時間	—
安全対策	—
利用者数（令和5年度実績）	37人（稼働日数：1日） ※釣りイベントの開催 ※荒天により順延開催

港湾における釣り施設に関する事例（高知港）②

令和5年度の実績報告

平成31年3月のモデル港指定後、新型コロナウイルス感染拡大の影響により協議会の活動が中断していたが、令和4年度から再開し、高知港の釣り場開放に向けた検討（開放水準や安全対策等）を進めている。

開催日：令和5年11月19日（日）7:00～11:30頃
 場所：高知港 桂浜防波堤
 主催：公益財団法人日本釣振興会 高知県支部
 協力団体：桂浜水族館
 後援：高知港の利活用等に係る協議会、高知県立坂本龍馬記念館
 参加者：37人（大人26人、子ども11人）※荒天による順延開催
 内容：① 開会式（開会挨拶）衆議院議員 山本 有二 氏からの祝電披露
 ② 釣り
 ③ 表彰式、抽選会



総括：●桂浜水族館による屋外水族館（釣った魚の展示）、お魚マップの作成等、大人・子どもが共に楽しめる企画を立案し、実施した。
 ●桂浜防波堤への注意喚起用ラインマーカーの施工、救命艇の配備、梯子の設置数の増等、安全対策の強化を図った。
 ●高知海上保安部による自己救命確保の3つの基本の説明と、釣り道具を活用した救命講習の実施。
 ●開催範囲について、基部から400mの範囲に縮小し、イベント運営効率の改善を図った。
 ●受付ブースの場所変更を行い、観光客の動線を阻害しないよう配慮した。
 ●手洗い場や喫煙場所、ゴミ処理等について注意喚起のチラシを配布し、マナー向上に努めた。

開催日：令和6年2月8日（木）14:00～15:30 自由民権記念館
 参加者：25名
 委員：南国生活技術研究所、日本釣振興会高知県支部、高知港運、高知県漁業協同組合、桂浜水族館、高知海上保安部、高知県警察本部、高知東警察署、高知市消防局、高知県土木部、高知県高知土木事務所、高知県産業振興推進高知市地域本部、高知市商工観光部、高知港湾・空港整備事務所

議事：・釣りイベントの実施報告及び総括 ・令和6年度のイベント等実施予定について
 意見：●昨年よりも安全対策が拡充され、より安心・安全なイベントとなった。
 ●防波堤に水槽を設置しての屋外水族館はとても好評であった。イベント集客のため、防波堤でできる企画を更に立案していきたい。
 ●釣りイベント等を通じて、家族で楽しめる場所という認知拡大を図り、桂浜公園に市民が足を運ぶ機会を増やせるとよい。
 ●来年度から桂浜工区の三重防護事業工事が現地着工する。また、桂浜防波堤の粘強化工事も進んでいく。イベント継続には調整を要する。

令和6年度以降の取組予定

- 協議会は年1回を予定。
- 釣りイベントは11月頃（1回以上/年）を予定。工事の本格稼働中については、イベント回数の増加は慎重な検討を要する。
- 協議会で出された意見等を踏まえ、安全対策やイベントコンテンツの企画等を行う。
- イベントを盛り上げる取り組みの拡充を図るため、関係者との更なる連携策を検討する。



釣りイベント集合写真



釣りイベント実施状況

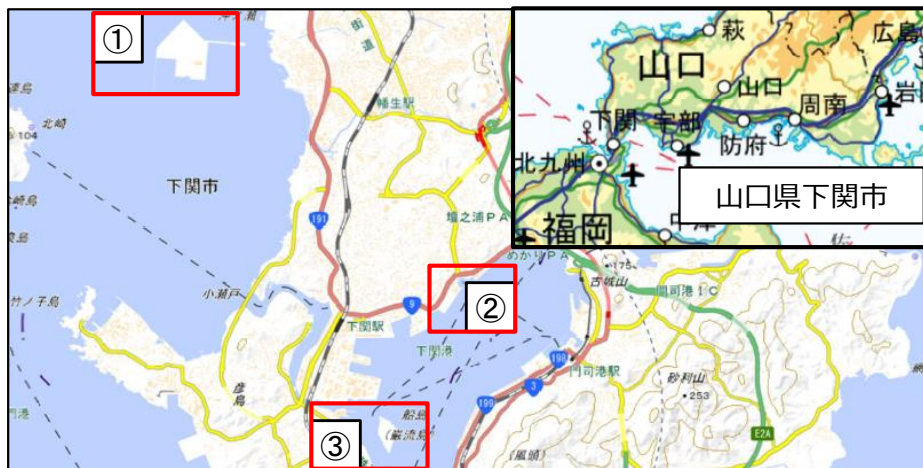
釣果



屋外企画実施状況

救命訓練実施状況

港湾における釣り施設に関する事例（下関港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- あるかぼーとエリアは市街地となっており、釣り文化と街並みが一体化した景色が楽しめる。
- 巖流島釣棧橋は、観光名所としてもにぎわいを見せている。



①新港地区



②巖流島釣棧橋



③あるかぼーとエリア

【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	下関港
協議会等	下関港湾協会
対象港湾施設	<ul style="list-style-type: none"> ・新港地区（計画） ・あるかぼーとエリア ・巖流島釣棧橋
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	下関市
釣り施設管理・運営者	下関市
施設利用料	無料
運営時間	常時
安全対策	浮輪、梯子など
利用者数（令和5年度実績）	不明

- 各施設整備時点（②H4、③H16年）で開放。
- 新港地区については、安全対策や管理運営体制について議論していく。



港湾における釣り施設に関する事例（下関港）②

令和5年度の実績報告

- 令和5年9月24日、クルーズ岸壁供用開始とクルーズ客船の初寄港を記念し、『こども釣り体験イベント』とキジハタの『稚魚放流』を実施。
- こども釣り体験イベントには、市内の小中学生約50名が、稚魚放流には市内のこども園の園児ら17名が参加した。



イベント集合写真



イベントの様子



稚魚放流集合写真



放流の様子

令和6年度以降の取組予定

- ・巖流島釣棧橋、あるかぽーとエリアの継続的な開放。
- ・日本釣振興会が実施する稚魚放流への参加。



開放の様子(あるかぽーと)

港湾における釣り施設に関する事例（北九州港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

- 北九州市、釣り文化振興モデル港事務局（釣りにこか倶楽部）、遊漁船、飲食店、ホテル等が一体となった取り組み。



【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	北九州港【国際拠点港湾】
協議会等	北九州釣りにこか倶楽部
対象港湾施設	・大里2号物揚場
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	北九州市
釣り施設管理・運営者	北九州市
施設利用料	無料
運営時間	設定なし
安全対策	<ul style="list-style-type: none"> ・救命浮環設置 ・ロープ設置 ・昇降階段 ・車両転落防止バリカー 等
利用者数（令和5年度実績）	年間300名（稼働日数365日）

- 北九州市からの要望を受け、地域の賑わいづくり、北九州ならではの豊富で味覚絶品の水産資源と、玄海の豪快な釣りを地元の観光資源の目玉にしようと、2018/4/10北九州釣りにこかクラブ設立。2019/3/19釣り文化振興として認定。釣りにこか倶楽部所属の遊漁船の出船場として有効活用している。地元の小学生を対象に釣り教室や稚魚放流事業を定期的開催。また釣りツアーご利用者には釣った魚を調理する飲食店をご案内している。



港湾における釣り施設に関する事例（北九州港）②

令和5年度の実績報告

- ◎外務省・北九州市国際政策課
駐日大使外交団による釣りいこか倶楽部視察
- ◎下関港長州出島で釣り体験・稚魚放流イベントに参加

7/19(水)外務省・北九州市からの要望で駐日大使外交団の当倶楽部の視察が行われた。7か国10名の外交団が2隻に分かれ関門港内で釣りと釣った魚での食事を体験された。漁場、資源の豊かさとローケーションを含めた都市型レジャーを満喫された。NHK地上波放送有(参加国:ナイジェリア・タンザニア・ドミニカ共和国・ドイツ・オーストリア・アイルランド・チェコ)



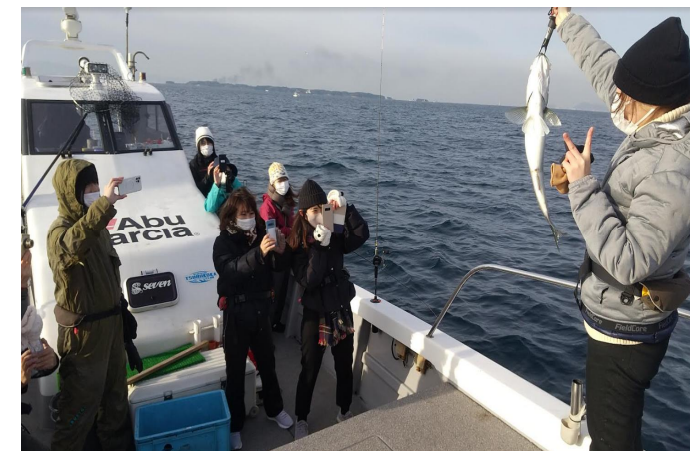
9/24(日)下関港長州出島において釣り文化振興モデル港事業イベントに参加。こども釣り体験教室(小中学生50名)、稚魚放流体験・船上からアコウ5,000尾を放流。下関前田市長も参加され、イベントの様子を見学いただいていた。



令和6年度以降の取組予定

- ・6月中旬20名規模にて女性を対象とした釣り教室・船釣り体験を開催予定
- ・小学生を対象としたモデル港発着のプランを立案・開催
- ・北九州市議会釣り教室開催
- ・地元自治体・経済界釣り体験
- ・10月中旬小学生を対象とした釣り教室を開催予定

イメージ 女性限定釣り教室



港湾における釣り施設に関する事例（芦屋港）①



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- 令和8年度の釣り場開放を目指して、地元の漁業従事者と意見交換し、管理運営のルールづくりを実施する。



【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	芦屋港【地方港湾】
協議会等	芦屋港海釣施設運営協議会
対象港湾施設	東防波堤（開放検討中）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	福岡県
釣り施設管理・運営者	—
施設利用料	—
運営時間	—
安全対策	—
利用者数（令和5年度実績）	—

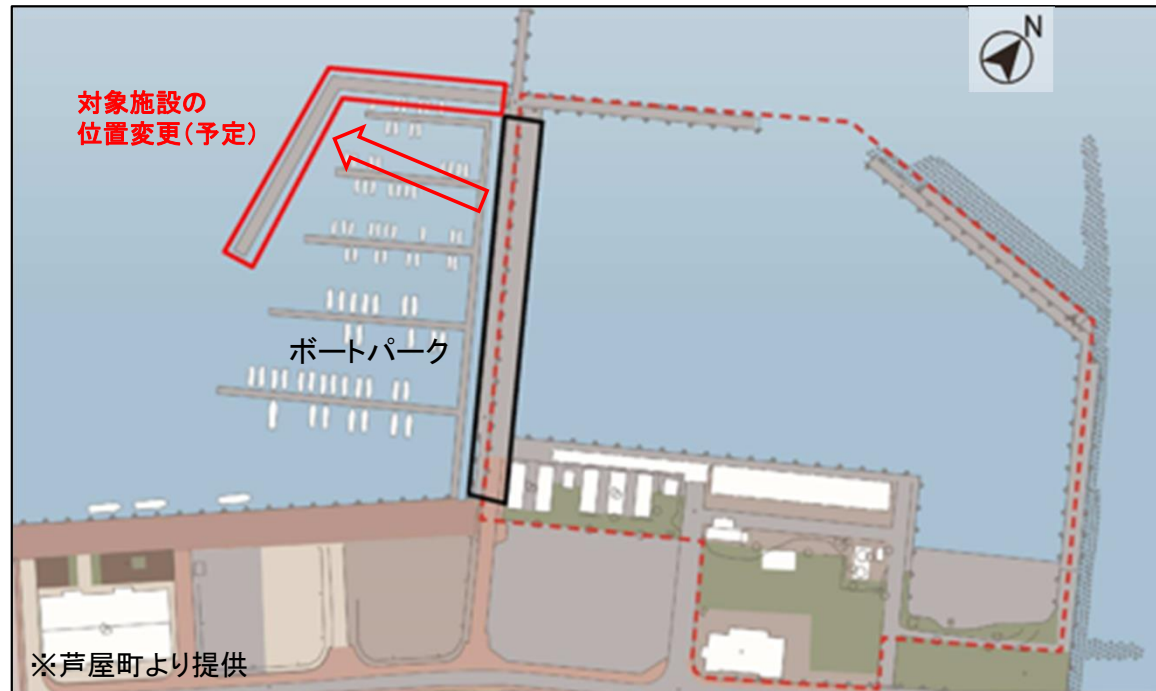
- 芦屋港活性化基本計画に基づき、海釣施設として整備をすすめている。
- 平成31年4月1日に協議会を立ち上げ、令和8年度の施設開業を目指している。



港湾における釣り施設に関する事例（芦屋港）②

令和5年度の実績報告

- 港湾計画一部変更に伴い、ボートパークの位置が変更となり、静穏度の維持のための波除堤を整備し、海釣施設として開放を進めている。
- 【福岡県が実施】
 - ・エリア分けフェンスの設置開始(令和6年1月開始)
 - ・新波除堤設置に伴うスケジュール確認・工事周知
 - ・海釣施設築造工事に着工(令和6年1月～12月頃)

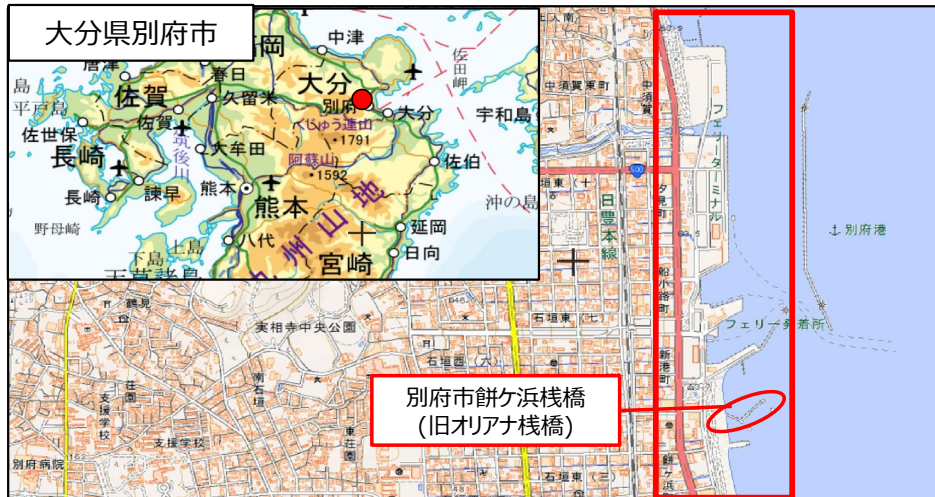


- 釣りマナー看板設置に係る協議を実施
- 施設管理・利用のルール的事例調査

令和6年度以降の取組予定

- 釣りマナーの啓発
- 釣りマナー看板の設置
- 漁業従事者との協議
(施設開放に向けた漁業従事者からの理解、海釣施設の管理運営のルール検討)
- 海釣施設の工事
- マニュアル作成、救助訓練

港湾における釣り施設に関する事例（別府港）①



＜釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント＞

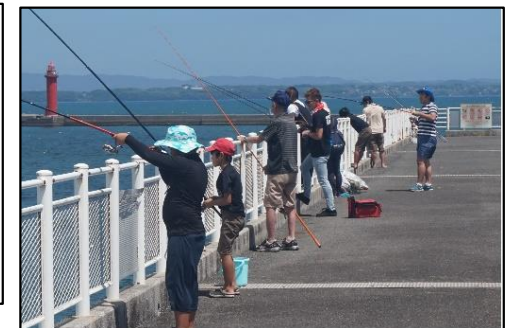
- 地元中央商工連合会及び自治会を中心とした、地域の清掃活動とポートフェスタ開催時のマンパワーの協力を得て地域ぐるみで運営している。



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和5年12月末現在	
港湾名	別府港【重要港湾】
協議会等	別府国際観光港みなとまちづくり協議会
対象港湾施設	別府国際観光港及び別府市餅ヶ浜栈橋（旧オリアナ栈橋）
モデル港指定日	平成31年3月29日
港湾管理者	大分県
釣り施設管理・運営者	別府市
施設利用料	一般開放（無料） ただし、使用する場合は22円/m2、 占用する場合は37円/m2
運営時間	8:00～17:00
安全対策	・転落防止柵設置 ・救命浮環 大2基設置
利用者数（令和5年度実績）	一般開放（稼働日数：365日）

- SSオリアナ号が撤退した後、しばらく閉鎖していたが、利用の要望があったため、平成23年度より別府市餅ヶ浜栈橋の一般開放を開始。



別府ポートフェスタ釣り教室

港湾における釣り施設に関する事例（別府港）②

令和5年度の実績報告

- 毎年、ポートフェスタと同時開催をメインにしていたため、天候に作用されやすいので、日釣振(大分支部)と協力して、適時開催することにした。
- ポートフェスタ、各種展示会で釣りに関するツール、マナー等の啓発ブースを設け、釣り人口の底辺拡大を図った。
※ポートフェスタ2023
日時： 令和5年8月26日(土) 9時～15時
場所： 別府市汐見町9番地1号 県営3号上屋
- 一方で、運営費の不足については相変わらず苦労している。
- 温泉×ワーケーション×釣りをミックスした新たな湯治文化を創造するため、鉄輪温泉地区を中心とした、施設と協働することにした。

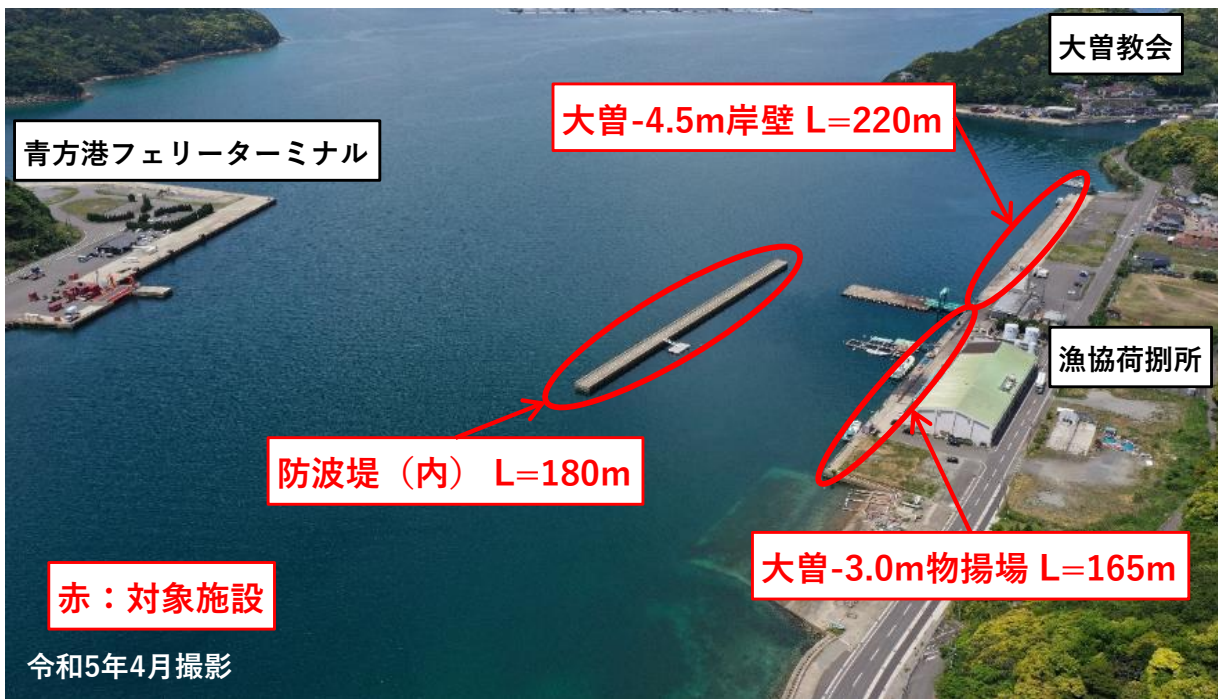
令和6年度以降の取組予定

- 別府ポートフェスタと、釣り教室・釣り大会の同時開催の復活を図る。
- 「温泉×ワーケーション」、「ワーケーション×釣り」をミックスして、「温泉×ワーケーション×釣り」をキーワードに地域と引き続き連携を図る。

港湾における釣り施設に関する事例（青方港）①

<釣り文化振興モデル港としての特色・アピールポイント>

- 離島で全国初のモデル港指定
- 船で渡る沖防波堤として全国初の釣り場開放
- 誰でも手軽に利用可能(用具レンタル、釣り指導、後処理)



- 漁協による水産業と観光事業を組み合わせた取り組み(漁師の朝飯)を10年以上継続中
- 上五島は釣りのメッカであり、初心者や観光客にも釣りを楽しんでもらえるよう、令和元年より協議会で議論を行い、令和4年に釣り場開放



景色の良い沖防波堤での釣り
(非日常体験)



国土地理院地図(電子国土Web)(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】令和5年12月末現在

港湾名	青方港
協議会等	五島楽釣上五島協議会
対象港湾施設	・大曾地区 防波堤(内)・大曾-4.5m岸壁・大曾-3.0m物揚場 (令和4年10月8日開放)
モデル港指定日	令和2年8月3日
港湾管理者	長崎県
釣り施設管理・運営者	上五島町漁業協同組合
施設利用料 (渡船代・保険料込)	釣具レンタル込：4,100円 釣具持参：2,000円
運営時間	9:00~17:00(4月~11月)
安全対策	・救命胴衣、救命浮環、縄梯子 ・昇降用浮棧橋 ・通行ライン、危険ライン表示 など
利用者数(令和5年度実績)	150人(稼働日数：41日)

港湾における釣り施設に関する事例（青方港）②

令和5年度の取組報告

●釣イベント(2回開催予定)

・令和5年11月25日～26日

「五島エギングカップ実行委員会」主催 223名参加※主催者HPより引用

・令和6年2月3日 長崎文化放送主催の釣りイベント 25名参加

※主催者HPより引用

●利便性向上施策の検討(長崎県実施)

●広報活動

・チラシの製作、配布

・釣り関連番組「釣りうえ～ぶ」への出演(令和5年7月7日放送)

・広報誌「フリーGOTO」への記事掲載

●釣りマナーの啓発(ポスター掲示等)

チラシ

県内初 **国内初**
青方港の沖防波堤が釣り場施設へ!!

【解放期間】4月～11月(完全予約制)
 【解放時間】9時～17時
 【入場者数】最大50人
 【基本料金】大人 2時間4,100円
 (税込) 小人(小学生以下) 2時間2,800円
 穂穂料、投針用衣、釣り道具セット、
 初回正午、保険料込み

【別途費用】付き添い宿泊 2,000円、延長料金 1時間1,000円
 仕掛け、サビキ、エギ 500円、追加エギ 300円
 【安全対策】浮標、標しぼ、救命ブート、危機表示サイン等

詳しくはこちらへ
 新上五島町観光物産協会
 TEL: 0959-42-0964
 E-mail: kamikan@beach.ocn.nc.jp

事業主体: 五島釣り會上五島協議会

広報誌「フリーGOTO」

住職プログラム紹介
新上五島町

沖防波堤釣り体験
 新上五島町の沖防波堤が釣り場施設として活用されることになりました。この施設は、釣り愛好家にとって魅力的な場所であり、地域の観光資源としても活用される予定です。記事には、釣り場の概要、釣りマナー、そして釣りを楽しむためのポイントが詳しく紹介されています。

詳しくはこちらへ
 新上五島町観光物産協会
 TEL: 0959-42-0964
 E-mail: kamikan@beach.ocn.nc.jp

令和6年度以降の取組予定

- ・協議会開催
- ・地域の飲食店と連携した食事の提供
- ・釣りイベントの開催
- ・背後用地に「漁師の朝飯」の簡易施設整備検討
- ・観光部局と連携した広報
- ・ネーミング など